

2025 年度第 1 回（通算 211 回例会）技術情報交換会の案内

エアバス・ジャパン(株)

エアバスの日本におけるビジネス状況と最新鋭機 A350

三菱重工業(株)

H-IIA/B ロケットが果たしてきた役割と宇宙輸送系の将来展望

一般社団法人先端材料技術協会（SAMPE Japan）の技術情報交換会は、定時社員総会終了後に、エアバス・ジャパン（株）と三菱重工業（株）の講演 2 件を企画しました。

今後の会員皆様が進むべく方向の参考になれば幸いです。

講演会終了後、東京大学敷地内の山上会館で技術交流会を行います。名刺交換・意見交換・技術情報交換・ビジネスマッチングの場として、ご利用・ご参加ください。

尚、技術情報交換会は、年 3 回程度開催していますが、技術・製品紹介を通じて会員相互の情報交換及び交流の促進などのネットワークの作りを目的としております。次回以降の製品・技術紹介を ご希望される方やその他のご要望・ご相談等ございましたら技術情報交換委員会に お気軽にご連絡ください。技術情報交換会での製品・技術紹介は、SAMPE Japan の製品・技術賞の候補の対象となります。

記

1. 日時： 2025 年 9 月 24 日（水） 14:45 ～ 19:30
2. 場所：
講演会： 東京大学本郷キャンパス工学部 2 号館 213 号講義室（14:45 ～ 17:00）
（講演会終了後 技術交流会場へ移動）
技術交流会： 山上会館 1 階 17:30 ～ 19:30
3. 参加費： 正会員
 - ・個人登録 14,000 円（不課税）
 - ・名誉会員 7,000 円（不課税）
 - ・永年会員 7,000 円（不課税）
 - ・シニア会員 7,000 円（不課税）
 - 賛助会員（5 人/口まで） 14,000 円（不課税）
 - 学生会員 無料（講演会のみ）
 - 非会員 25,000 円（税込）
4. 定員： 100 名

5. 参加申込

お申込みは以下の参加登録システムをご利用下さい。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/apply/SAMPE>

尚、**申し込み期限は、9月18日(木)17時まで**としますので、お早目にお済ませください。

登録料支払い方法を以下の2方法といたします。

- ・ クレジット決済
- ・ 銀行払

※ 会員ID・パスワードが不明な方は下記宛にお問い合わせ下さい。

(一社)先端材料技術協会事務局

Tel: 03-5981-9824 Fax: 03-5981-9852 E-mail: g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp

技術情報交換会参加手順

1 参加登録システム

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/apply/SAMPE>

から申し込んでください。

- ✓ クレジット決済 あるいは 請求書による銀行払いを選択してください。

請求書・領収書はオンライン発行となりますのでご自身にてダウンロードして下さい。

- ✓ ご不明な点は g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp までお問合せください。

(注1) 締め切後の返金を致しかねます。欠席の場合、代理の方のお名前を事前に、ご連絡いただければ参加可能です。

また返金の場合、返金費用を差し引いての返金となります。

2 上記手続き完了後、参加登録完了メールを送付いたしますので、プリントアウトして会場にご持参ください。

【プログラム】

14:30 ~ 14:45 参加者受付・入室

14:45 ~ 14:50 開会挨拶

技術情報交換委員会委員長 馬場 俊一

連絡先: shunbaba@sunwa-trading.co.jp

- 14:50 ~ 15:50 **エアバスの日本におけるビジネス状況と最新鋭機 A350**
講演 (1) **エアバス・ジャパン株式会社**
コミュニケーション・ディレクター 野坂 孝博様

欧州を代表する航空宇宙メーカーに成長したエアバスは現在、民間航空機、ヘリコプター、防衛・宇宙の3つのビジネス部門で成り立っています。それぞれの部門が日本でどのような活動を行っているかをご説明するとともに、複合材を多用した最新旅客機 A350 をご紹介いたします。

- 15:55 ~ 16:55 **H-IIA/B ロケットが果たしてきた役割と宇宙輸送系の将来展望**
講演 (2) **三菱重工業株式会社**
防衛・宇宙セグメント 宇宙事業部 技術部 次長
兼 次期基幹ロケット プロジェクトマネージャー 佐藤 晃浩様

1996年に開発を開始、2001年8月29日に試験機1号機を打上げ、2025年6月29日に50号機の成功で有終の美を飾ったH-IIAロケットについて、開発から打上輸送サービス運用を含めた約30年の道のりを振り返る。

併せて、H-IIA/Bのバトンを引き継ぎ、基幹ロケットとして誕生したH3ロケットについて、開発・運用のステータスと、今後の計画を概説する。また宇宙輸送系の将来展望にも触れ、いくつかのシナリオについて紹介する。

- 16:55 ~ 17:00 **連絡事項・閉会挨拶**
17:30 ~ 19:30 **技術交流会 (山上会館)**



アクセスについて

https://clin.or.jp/?page_id=2287

以上